



全国高等学校外语专业八级考试指南丛书

日语专业八级考试详解

● 主编 皮细庚

上海外语教育出版社

W
外教社

全国高等学校外语专业八级考试指南丛书

● 主编 皮细庚

日语专业八级 考试详解

编者 张建华 焦毓芳 毛文伟
傅 冰 王华伟

江苏工业学院图书馆
藏书章



上海外语教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语专业八级考试详解/皮细庚主编. —上海:上海外语教育出版社, 2006

ISBN 7-5446-0234-6

I. 日... II. 皮... III. 日语—高等学校—水平考试—解
题 IV. H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 116223 号

出版发行: 上海外语教育出版社

(上海外国语大学内) 邮编: 200083

电 话: 021-85425300 (总机)

电子邮箱: bookinfo@sflep.com.cn

网 址: <http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑: 应 允

印 刷: 上海外语教育出版社印刷厂

经 销: 新华书店上海发行所

开 本: 787×1092 1/16 印张 18.25 字数 436千字

版 次: 2006 年 11 月第 1 版 2006 年 11 月第 1 次印刷

印 数: 5 000 册

书 号: ISBN 7-5446-0234-6 / G · 0124

定 价: 36.00 元 (附 MP3 光盘)

本版图书如有印装质量问题, 可向本社调换

前言

高校日语专业四级和八级考试自 2002 年开始,至今已实施 4 届。应该说,这一考试对促进教育部规定的教学大纲的贯彻执行,对促进各高校日语专业教学内容的改进和教学水平的进一步提高,起到了积极的作用。

日语专业八级考试的目的是检查各高校日语专业对教育部制定的《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》的执行情况,特别是教学大纲规定的八级水平所要达到的综合语言技能和交际能力。这项考试与“日语能力考试”相比,首先是考试内容更全面,是对各高校日语专业教学情况(包括课程设置和教学内容与质量)的全面检查,也是对学生的综合素养和综合语言技能的全面检查,同时八级考试的考题形式和难易程度也更符合我国日语专业教学的实际情况,能够更真实地反映日语专业学生的综合知识水平和日语实际运用能力。

为此,我们在认真分析《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》和《日语专业八级考试大纲》的基础上,组织编写了《日语专业八级考试详解》,目的是为了帮助日语专业学生进一步了解八级考试的要求和内容,提示专业学习的要点和学习方法,同时也希望能帮助学生提高应试能力。

本书由“上篇 考纲与样题分析”和“下篇 模拟试题与分析”两部分组成。

“上篇”包括“新考纲的总体构成与分析”、“考试内容的分析与学习要点的提示”、“考纲样题与答案分析”三个部分。

“下篇”由十套模拟试题组成,其中有三套模拟试题附有“答案分析”。

因此,本书的特点主要在于“分析”考试内容和“提示”学习要点。本书希望通过分析考试内容和提示学习要点,帮助学生对本专业所应具备的知识面和综合素养有一个系统的、实在的了解,同时对各方面知识的构成和应掌握的要点都能够了然于胸。为此,本书结合考试内容的分析,尽量全面地介绍有关方面的系统知识,并全面提示有关的学习要点;同时结合考题答案分析,尽量介绍与该考题有关的学习内容和知识点,目的还是为了帮助学生系统地掌握相关方

面的知识。

本书“下篇”提供的十套模拟试题,也是根据考试内容的系统性和学习要点的分布所组成。

本书“上篇”的“考纲样题与答案分析”和“下篇”的模拟试题的“答案分析”,其主要目的也是为了提示与该考题有关的系统知识和学习要点。当然,分析命题意图和答案依据,适当地介绍一些判断技巧,也是“答案分析”的一个重要内容。

八级考试涉及内容广泛,为此本书由一批在日语专业担任各课程教学工作的教师集体编写,同时也能够充分利用各位教师的实际教学经验。

本书参考了国内外有关学者的著述和研究成果,由于篇幅关系,不能一一注明,谨在此表示衷心的感谢。

本书难免有疏漏之处,恳请国内外同仁大家和读者予以批评指正。

编者
2006. 8

目 录

上篇 考纲与样题分析 1

新考纲的总体构成与分析 3

考试内容的分析与学习要点的提示 5

听力部分 6

文字部分 12

词汇部分 13

语法部分 14

基础语法 14

敬 语 16

古典语法 19

文学与文化部分 20

文 学 20

文 化 21

阅读理解部分 23

短文读解 23

文章读解 24

完形填空部分 28

翻译部分 29

考纲样题与答案分析 31

下篇 模拟试题与分析 51

模拟试题一(附答案分析) 53

模拟试题二(附答案分析) 74

模拟试题三(附答案分析) 94

模拟试题四 114

模拟试题五.....	129
模拟试题六.....	144
模拟试题七.....	159
模拟试题八.....	173
模拟试题九.....	187
模拟试题十.....	201
附 录	215
2002 年大学日本語専攻生八級能力試験問題	217
2003 年大学日本語専攻生八級能力試験問題	232
2004 年大学日本語専攻生八級能力試験問題	248
2005 年大学日本語専攻生八級能力試験問題	264
参考答案	278

上篇

考纲与样题分析

新考纲的总体构成与分析

《高校日语专业八级考试大纲》(以下简称考纲)是根据 2003 年国家教育部颁布的《高等院校日语专业高年级阶段教学大纲》制定的,考试目的是为了检查各高校日语专业对教学大纲的执行情况,特别是教学大纲规定的八级水平所要达到的综合语言技能和交际能力。

2005 年 6 月出版的《高校日语专业八级考试大纲(修订本)》,与 2001 年出版的考试大纲相比,考试内容的构成和难易程度都有所调整。

总体来说,新的考纲更强调知识面的结构完整,强调高年级阶段的教学特色,强调日语的实际运用能力,同时也尽量接近我国大部分高等院校日语专业的实际教学现状。比如,日本文化考题和完形填空的增设、听力考题的减少、敬语和古典语法以及文学考题的减少和降低难度等等。

新考纲的题型、题数、计分和考试时间如下。

卷 别	序 号	题 号	名 称	题 数	计 分	考试时间(分钟)
试 卷 一	一	1~10	听 力	10	20	20
	二	11~20	文 字	10	10	90
	三	21~30	词 汇	10	10	
	四	31~50	语 法	20	20	
	五	51~60	文学与文化	10	10	
	六	61~80	阅读理解	20	20	
	七	81~90	完形填空	10	10	
试卷二	八		翻 译	1	20	90
	九		写 作	1	30	
合 计				92	150	200

“试卷一”七个部分通常归纳为“听力理解”和“综合试题”两大部分。

“听力理解”部分的题数、计分和考试时间较以往均有所减少,题型和难易程度无太大变化。

“综合试题”部分包括文字、词汇、语法、阅读理解、完形填空、日本文学与文化等。这一部分较以往调整较多,主要是增设了文化和完形填空,减少了语法部分的敬语、古典语法以及文学的题数,并降低了难度。另外在词汇和阅读理解部分的内容和难易程度也有所调整。

“试卷二”包括翻译和写作,除了翻译的计分有所调整,考试要求和目的均无大的变化。

考试内容的分析与学习要点的提示

考纲的《日语专业八级考试样题》，确定了考试的题型、题数和考试要点。

下面将结合样题和 2005 年考题进行试题分析和学习要点的提示。

试题分析部分，包括考试内容、命题意图、命题要点和命题形式的分析。

学习要点的提示部分，结合样题提供的考试内容要点，全面提示学习要点和学习方法。在此基础上，对样题答案进行分析。

为了便于分析和提示学习要点，下面把考纲样题分解成各个大小项目，逐项进行讲解。具体分项如下：

听力部分

文字部分

词汇部分

语法部分

基础语法

敬语

古典语法

文学与文化部分

文学

文化

阅读理解部分

短文读解

文章读解

完形填空部分

翻译部分

以上分项基本按照考纲“试卷一”的内容构成，其中“语法”“文学与文化”“阅读理解”3 个部分作了细分。“翻译”是“试卷二”的内容，“写作”部分不作分析。

听力部分

1. 考试内容

听力理解部分一向是日语专业八级考试中比较重要的部分,也是考生比较薄弱的环节。虽然所占分值不是很高,但要取得高分这部分内容绝对不可忽视。根据最新出版的《日语专业八级考试大纲》,听力理解主要测试考生对有声语言的理解能力和获取有声信息的能力。考试时间约 20 分钟,全部录音只播放一遍,边听边答题,放完录音后听力部分考试结束。

2. 命题形式

命题形式如样题所示,全部为选择题。共 10 道题,每题 1 分,由对话和短篇两部分组成,要求考生根据听到的内容从每题的四个选项中选取一个最佳答案。从近两年(2004、2005)的试卷来看,10 道题主要分成两部分:问题一和问题二。问题一由 7 道题组成,每题为 5~9 句不等的对话;问题二由 3 道题组成,每题为 100~400 字不等的短文。考纲样题中虽然分成了三部分,其实问题三是问题二的延伸。以后的八级考试听力部分可能还会沿用这种分配形式,对话约占 6~7 题,短文约占 3~4 篇。

3. 学习要点

听力理解能力与日语水平、日语基本功的扎实程度密切相关,扎实的语言功底是在听力理解中取得好成绩的必要条件。考生首先在平时就要有意识地增强自己在语音、词汇、语法等方面的能力,为提高听力理解能力打下扎实的基础。除此以外,还要培养自己多听的习惯。由于一般考生习惯通过眼睛看日语,听说训练只限于课堂,所以这方面普遍比较薄弱。只有通过多听,才能渐渐熟悉日语的语音、语调以及学过的单词和语法,进而整个句子的意思才能很快反映在脑海里。很多考生在听力考试中经常出现的学过的单词一时想不起意思,上句好不容易听出来了,下句却来不及听等等,都是由于平常听得不够,还不习惯通过耳朵理解日语的缘故。

当然听力理解也有一定的技巧,掌握了这些技巧再加上平常的努力,做起题来就会更加得心应手。从大纲对听力理解考试形式的规定可看出,听力理解的内容分为两个部分:会话理解和短文理解。会话大多是选自实际生活中两个人之间的对话,长度在 5~10 句不等,涉及生活中方方面面的情况。由于是以语气随便的口语表达为主,所以要求考生要十分熟悉日语的各类口语表达形式,包括各种单词或语句的缩写形式。另外,在解答这类题时还必须把握会话的语流,理解它的意思。短文一般会涉及社会风俗、生活习惯、文学艺术、社会制度、文化特征、科学技术等方面,有时还会加入作者的议论,平时积累一点人文社会科学方面的知识将有助于提高对这类短文的理解。

从近两年的考题来看,专业八级的听力理解题渐渐趋向于在会话或短文之后才提出问题,这样无形中增加了考试的难度,使考生无法有针对性地去听正文,也无法预测正文将要涉及的内容。考生只有在把握全文的基础上才能对后面的提问做出正确的回答。

这种情况下更需要掌握多种有效的听解技能。1) 有必要做一些简单的记录。听对话和短文时,对人名、地名、数字、时间和某些关键的词、内容有必要做一些简单的标记或符号,这样能对听力材料有一个全面的把握。有时对选项也可适当做些记录,防止无法及时做出判断而需进行二次判断时有据可依。2) 有效运用排除法答题。考生答题时,在基本做出判断的基础上,逐一对4个选项进行判断,可从最不可能的答案开始采用排除法,这样可以帮助考生更迅速准确地确定答案。3) 及时摆脱困境。在答题时可能会出现这样的情况,即有的考生因为上一题中的某句话或某个词没听清楚,总是放不下心,老在回想惦记,以致后面连续几题都受到影响。有时在一题中也会出现卡壳现象,这种时候要迅速摆脱困境,调整自己的心情,不要使自己陷于烦恼和困惑之中。

另外,考生还有必要了解听力题一般会从哪几个角度进行提问,以便在难以把握重点的情况下略微有的放矢地抓一些关键部分。

下面我们将在对近两年考试的试题进行分析的同时,了解一下听力理解的题型主要是从哪几个角度进行提问的。

(1) 关于原因理由

用「なぜ」「どうして」「理由」等词语对因果关系进行提问,是听力考试中常见的形式。原因有多种,单一的、多重的、直接的、间接的、主要的、次要的。这类题型要求考生学会如何排除一些干扰因素,找到真正的原因所在。

直接原因:听力材料中直接可以找到。

例1 (2004年真题)

女: いいわね、この車。ほしいな。

男: 大きすぎるよ。

女: あら、ゆったりしているし、家族みんなで乗れるじゃない。

男: 色も悪いよ。

女: 色なんか、頼めばどんな色にでも塗り替えてくれるわ。

男: 大きいとガソリン代も高いぞ。

女: 今はそんなことないわよ。もしかして、値段が高いから?

男: そうじゃなくて、我が家の車庫に入らないよ。

女: あ、確かにうちの、ちょっと狭いわね。

男の人はどうしてその車を買いたくないのですか。

- A. 車庫が狭いからです。
- B. 車が大きすぎるからです。
- C. 車の値段が高いからです。
- D. 車の塗り替え代が高いからです。

这道题中提到了很多原因,如「大きさ」「色」「ガソリン代」「値段」「車庫」等,只有在最后的「車庫」上两个人的意见达到了一致,所以前面的原因都是一些干扰因素,正确答案为A。

间接原因：听力材料中不能直接找到，需要进行一定的分析或推测。

例2 (2005年真题)

女：えー、海外出張？ ずいぶん急じゃない？

男：仕方ないんだ。行くはずだった人が急に入院しちゃったんだから。

女：でも、だからって、あなたが行くことないでしょ。1ヵ月なんて……。

男：社長の命令だからね。行かざるをえないよ。

女：そんなこと言って、ほんとには喜んでるんでしょ。私なんて、この2年、国内旅行だってしてないっていうのに……。

男：なんだよ。ぼくがいなくなるのを寂しがって怒っているのかと思ったら、それが理由？

女の人はどうして怒っているのですか。

- A. 男の人が出張に行くことを黙っていたからです。
- B. 男の人と一ヵ月も会えなくなるからです。
- C. 男の人が旅行に行くという約束を破ったからです。
- D. 男の人だけが海外へ行くからです。

这道题的四个选项中 A 和 C 是明显错误的，另外的 B 和 D 在会话中都没有直接提到，会话中只提到了「私なんて、この2年、国内旅行だってしてないっていうのに……」和「ぼくがいなくなるのを寂しがって怒っている」。要知道这其实指的就是 D 和 B。由于 B 在会话中已然被否定了，所以正确答案为 D。

选项的说法与会话原文中的说法不一致，这也是听力测试的考点之一，要求考生拥有融会贯通的能力和一定的联想能力。

(2) 关于数字

数字是人们言语交谈信息中的关键部分，包括时间、数量、金钱等，所以总是作为测试内容在听力理解的试题中出现。如果试题中出现的数字比较多，即使事先不知道问题，一般也能猜到会与这方面有关。做这种题目关键是要做好记录，写明某一数字所对应的内容，出题可能是双向的，即问某一数字对应什么内容，或某一内容对应什么数字。

例3 (2004年真题)

もし生まれ変われるとしたら「再び女になりたい」と答えた女性は67%。社会に対して「不満」「やや不満」と答えた人は71%。これは文部省の統計数理研究所が5年ごとに調査して、発表している「国民性調査」の1998年の結果だ。この調査は日本人の意識や考え方を調べることを目的としている。第1回の1958年の調査では、生まれ変わっても女性になりたいと答えた女性は27%しかいなかった。この数字は調査のたびに増えている。一方、男性はどの回の調査でも87%から90%が「再び男になりたい」と答えている。ほかの項目の結果も含め、生き生きと生活している女性の姿が思い浮かぶ。

第1回の調査で「生まれ変わっても女性になりたい」と答えた女性は何%を占めていますか。

- A. 27%です。
- B. 67%です。
- C. 71%です。
- D. 87~90%です。

这道题中出现了很多数字，由于事先不知道会提问哪一部分，所以每一个数字和它所对应

的内容都不能漏掉。当然要将内容很完整地写下来是不可能的,只要自己能看懂就行。因为是选择题,提问、选项和你的记录都能帮助你将内容回忆出来。正确答案为 A。

例 4 (2005 年真题)

お知らせします。来週 1 週間、新入生の学生相談窓口を開設いたします。今抱えている悩みや不満などを話しに来てください。女子学生は水曜日の朝 10 時から 4 時までで、男子学生は金曜日の朝 9 時から 3 時までです。相談窓口は 1 階の学生課ではなく、学生課の横の階段を上がってすぐ右側の部屋になっています。なお、3 年生、4 年生の就職相談は、随時就職課の窓口で受け付けています。一人で悩まないで、気軽に相談しに来てください。

相談を希望する 1 年生の女子学生はいつどこに行けばいいですか。

- A. 水曜日の午前 9 時から午後 3 時までの間に学生課の窓口に行きます。
- B. 水曜日の午前 10 時から午後 4 時までの間に 2 階の相談窓口に行きます。
- C. 金曜日の午前 9 時から午後 3 時までの間に 2 階の相談窓口に行きます。
- D. 金曜日の午前 10 時から午後 4 時までの間に就職課の窓口に行きます。

这道题比较复杂,提问的是时间与地点。考生除了掌握上述的一一对应做记录的方法以外,还必须很快将文章中的两个隐藏点找出来。一是「新入生」即「1 年生」;二是「相談窓口は 1 階の学生課ではなく、学生課の横の階段を上がって～」指的就是「2 階」。所以正确答案为 B。

(3) 关于地点

提问地点类的题目主要涉及谈话的地点、事件发生的地点、双方来去或等待的地点,包括:饭店、邮局、学校、电影院、咖啡馆等。还包括所提及事物的位置场所,如眼镜、词典等所在的位置。

例 5 (2004 年真题)

男: 2 時間も待ったんだぞ。もっと早く電話しろよ。

女: 私も待ってたのよ。「リブラ」って約束したでしょ。

男: あそこは込むから、歩道橋渡ったところの喫茶店って言っただろ。

女: うそ! はじめ、私、そう言ったのに、あなたが歩道橋をわざわざ渡るのなんて面倒だって言ったんじゃない。

男: 渡らずに歩道橋の手前にしようって言ったら、手前には 2 軒あるから間違えやすくて、君が反対したんだぞ。

女: だから、駅前の横断歩道の手前の店にしたんじゃない。

男: え? あ、横断歩道の手前だったっけ。

男の人はどこで待っていたのですか。

- A. 歩道橋を渡ったところの喫茶店
- B. 駅前の横断歩道の手前の店
- C. 「リブラ」というところ
- D. 駅前

这道题的关键点在于问的是男的所等的地方,从常识上来说,对话中女方明确反对的地方他肯定不会去。对话中提到了四个可供选择的场所,一个是「リブラ」,一个是「歩道橋渡ったところの喫茶店」,一个是「歩道橋の手前の喫茶店」,还有一个是「駅前の横断歩道の手前の

店」。「リブラ」和「歩道橋の手前の喫茶店」是女方明确反对的。「歩道橋渡ったところの喫茶店」和「駅前の横断歩道の手前の店」都是女方提议的,由于后者男方没有听清楚,所以他会去自己认为有点「面倒」的「歩道橋の手前の喫茶店」。正确答案为 A。

(4) 关于意见看法

谈论人物、评论事物,阐述自己的观点,是人们日常谈话中不可缺少的部分,当然也是听解试题中常出现的问题。作为听解试题,要求考生根据谈话者与被评议者之间的关系以及被评议者的属性,来判断说话者对该事物或人物的意见看法。

例 6 (2004 年真题)

男: ラジオって、今まで、音楽しか聞いていなかったんだけど、いろんな番組やってるんだね。

女: いろんな番組って?

男: うん、ニュースに、道路情報。

女: 便利よね。

男: うん。この間、ドラマ聞いたんだよ。ドラマはテレビで見るもんだって思っていたから、びっくりした。

女: そうね。映像がないと変な感じだものね。

男: それがね、かえって映像がないぶん、想像力がわくっていうか、すごく新鮮なんだ。

男の人はラジオについてどう思っていますか。

- A. 音楽を聴くのに便利だと思っています。
- B. ドラマは映像がないから変だと思っています。
- C. ニュースを伝えるだけで十分だと思っています。
- D. ドラマは想像力がわくので新しさが感じられます。

从这段对话的第一句话中就可以感觉出男子对收音机的看法是带有褒义成分的,了解了这个大前提对整段对话的理解有很大的帮助。回答问题的关键在最后一句话「かえって映像がないぶん、想像力がわくっていうか、すごく新鮮なんだ」,从中我们很容易找出正确答案 D。

(5) 推理推测

日语中一个很大的特点是语言比较委婉、含蓄,日本人一般不喜欢把自己的想法、观点说得太直率,太肯定,而是半显半露,留有余地,让当事人根据当时的语境、说话的语气等来推测。这类题往往不能为选项提供直接的信息,而要求考生“听话听音”,根据对话的内涵的理解,利用逻辑推理思维去辨别说话人的意图、暗示、态度、要求等,然后选出正确答案。

例 7 (2004 年真题)

女: ねえ。試験はどうでした?

男: だめだった。

女: どうして。そんなに難しかったの?

男: いや、試験問題の紙が3枚あるなんて思わなかったんだ。

女: えーっ、気が付かなかったの。だってそれじゃ、時間が余ったでしょ。